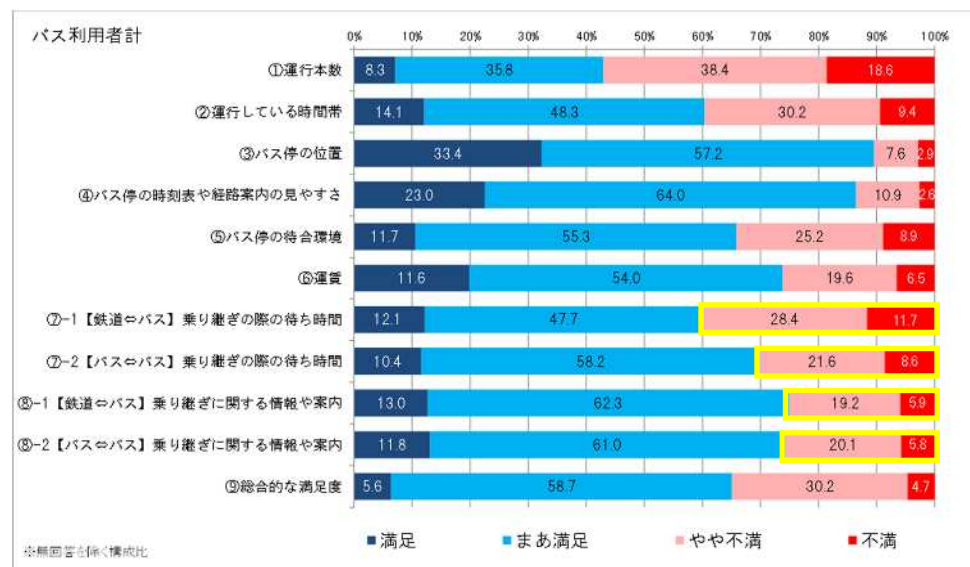


今年度実施した各種公共交通アンケート調査（市民、バス利用者、チョイソコ利用者）、網形成計画で位置づけた計画目標の達成度などを踏まえ、網形成計画で定めた基本方針ごとに、豊明市における課題を整理します。

基本方針1 名鉄名古屋本線、路線バス、ひまわりバス及びタクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、市内の拠点相互及び各地域をつなぐ公共交通体系を構築します。

- 市民等の日常的な移動手段として定着する現行公共交通サービスの継続（公共交通全体）
- 利用特性を踏まえた乗り継ぎ利便性が向上するダイヤの見直しと情報提供（路線バス及びひまわりバス）



- チョイソコの利用を促進する具体的な取組の展開（チョイソコとよあけ）
- 柔軟な運賃制度の導入や貨物輸送の恒久化によるタクシーの積極的な利活用を推進（タクシー）

基本方針2 周辺市町との結びつきを強化し、より密な連携を図る広域的な地域公共交通ネットワークを形成します。

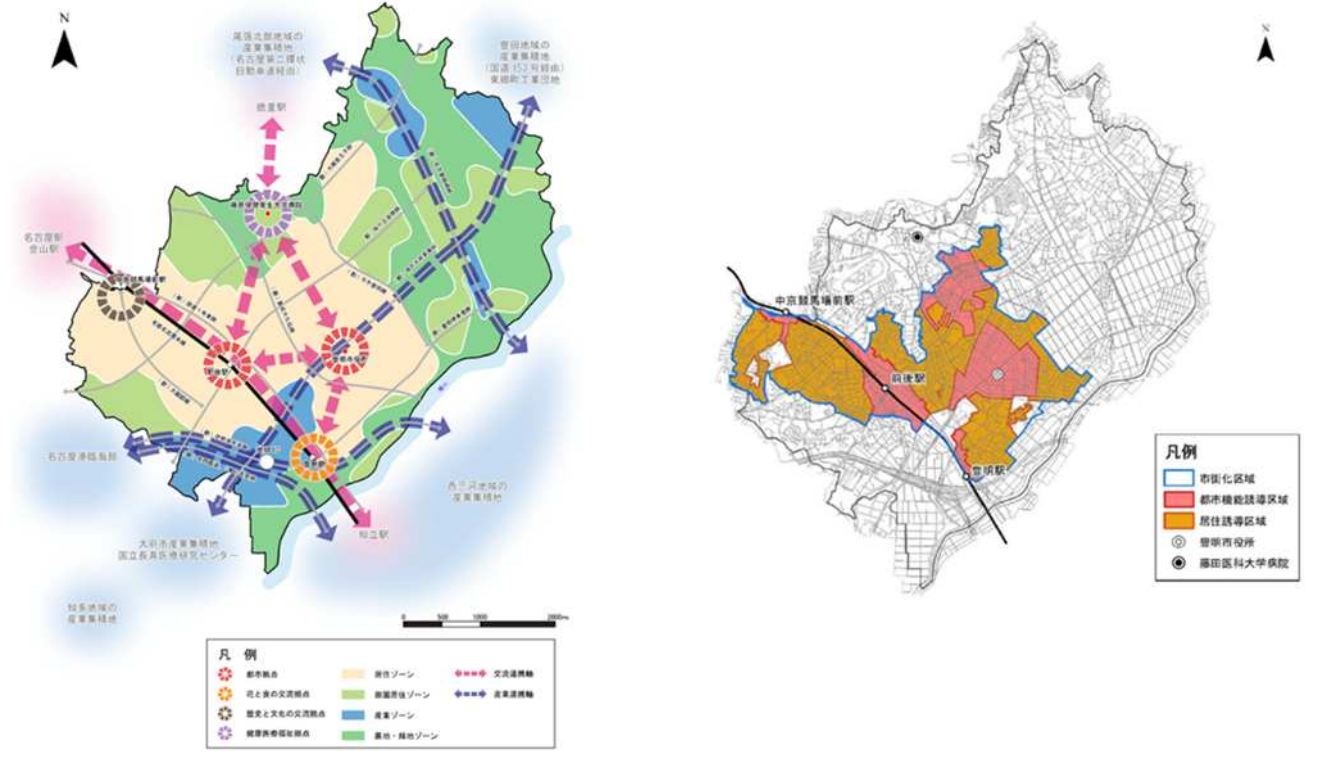
- 前後駅、藤田医科大学病院を交通結節点とした広域的な公共交通ネットワークの確保・維持
- 現網形成計画で位置づけた広域連携の強化に資する事業の継続
 - ・名古屋市隣接部での名古屋市営バスとの相互連携
 - ・市北部及び東部における隣接市町（東郷町、刈谷市）との相互連携

基本方針3 戦略的な公共交通施策の展開により、豊明市がめざすまちづくりの実現を図ります。

○まちづくりと連動した前後駅、市役所等の拠点間を効率的に運行する現行運行形態の継続

▼将来都市構造図（都市計画マスタープラン）

▼誘導区域の設定図（立地適正化計画）



○北部、東部地域の移動ニーズに応じた、適切な地域交通手段の選定

基本方針4 わかりやすく、誰もが安心して利用できる公共交通サービスを提供します。

- 路線図やダイヤ等のオープンデータ化の推進
- MaaSなどの新たなモビリティサービスの可能性や方向性の検討
- 公共交通の利便性が高まり、利用増進へと繋がる取組の展開
- ウィズ・コロナにおける安全・安心対策と公共交通が選択・利用される取組の推進
 - ・過度な公共交通への危機意識解消に向けた、予防対策の実施状況の情報発信

基本方針5 地域の特性に応じた公共交通の維持活性化に向け、多様な主体の連携・協働による地域公共交通を育む仕組みを構築します。

○多様な関係者が連携・協働し、公共交通を育む仕組みを構築・支援